

企業名：アウトソーシング

レポート名：統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

十分に理解できると感じた。私は、この企業の目指す姿とは、大まかに言うと、「顧客の利益はもちろんであるが、労働者にも寄り添った企業となる」というものではないかと考えた。扱っているのが人材派遣の分野である、という要因もあるだろうが、統合報告書からは特に、労働者に対してのケア、エンジニアの育成、技術開発に力を入れていることや、グローバルでの労働供給ギャップの解消、雇用の創出に対する熱意を感じ取れたし、経営理念としては労働格差の解消を挙げていた。また、従来の人材サービス業の主流である、人材ストックビジネスの変革(=この企業は“change the game”と名付けている)を目標として、五か年中期経営計画の中に組み込んでいる。これらの点からみても、この会社の目指す姿は明確に理解することができた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

十分に理解することができた。この会社はこれまで積極的に海外会社との M&A を行ってきており、世界各地に拠点を展開してきている。実際、この企業グループの 2020 年のグローバル外勤社員数は 86,000 名を超え、2016 年の 2 倍に成長している。このことは、グローバルでの労働力の需要ギャップを埋めるのには大きなアドバンテージとなっている。そして、完全失業率の上昇や、新型コロナウイルスの流行を受けても、採用数を増やしており、雇用の創出に対してとても積極的である、ということが分かった。さらに、人材育成についても、この企業独自のスキームを確立しているため、とても強固なもののように思えた。また、この会社の強みは技術開発力であると考えられる。例えば、この企業は「CSM」と呼ばれる、クラウドでの派遣スタッフ管理システムをリリースしている。これは、派遣を発注する際の煩雑な管理業務の軽減を助けてくれるものである。コロナによって仕事のリモート化が進み、新たな現場の体制の構築が進んでいる中で、このシステムは、企業の DX 化を推進するものとして、高い評価を受けている。また、この企業の、「派遣 2.0」というスキームは、労働力だけでなく、ロボットや AI 等の技術と合わせて顧客に提供する、というもので、企業の DX 化を後押ししている。これらの点から、この企業は高い技術力を有していると考えて良いのではないだろうか。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

十分に理解することができた。まず、企業のグローバル性についてだが、現在、ヨーロッパ、アジア、南米などにハブ拠点を有しており、世界 35 の国と地域で事業を展開している。拠

点間での人材サポートルートの構築や、国境を越えた就業のサポートなどのビジネスの継続的な展開などによってより発展していくものと思われる。次に、人材育成についてだが、この企業は「KEN スクール」と呼ばれる独自のシステムを導入している。これは、新入社員が入社後に受ける研修制度であり、これによって IT・研究・開発・設計・事務などの様々な職種に就業し、キャリアアップや DX 人材へのキャリアチェンジなども可能となる、というものであり、この制度は豪州でも展開している。また、海外就労者サポートサービスも行っている。将来の企業を担う存在である新入社員に対して、このような充実した人材育成システムを提供していることは、優位性の持続性に良い影響を与えると考える。

最後に技術面だが、コロナの影響が残る中で、時代の変化に敏感に反応し、「CSM」や「派遣 2.0」に代表されるように、大きく変わってゆく顧客のニーズにしっかりと合った価値の提供ができており、今後もその成長が期待できる、と感じた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

思うことができた。先ほども述べたように、この会社は研修や人材育成がしっかりしている。これらの制度は、自身の人的資本の価値向上に直結してくるものであると考えたためである。また、この企業は高いグローバル性を有しており、自らの国際性も高めることができるのではないかと感じたからである。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

この企業の統合報告書は、よく練られており、採用しているシステムの詳細や性質、会社の特徴などを読み取ることができた。また、グラフなども多く用いられており、具体的な信用できるデータに多く触れられる、という点はとても良いと感じた。ただ、一つ改善点をあげるとするならば、もっと写真を用いても良かったのではないかと感じた。もちろん、当統合報告書内には写真の使用が見られたが、後半はデータの紹介が多く、少し退屈な印象を持った。強みとなっている、技術やスキームに関する写真をより多く掲載すれば、この企業の魅力がより伝わると思うし、具体的なイメージについてもしやすくなるのではないかと感じた。